福岡・鎮西合同俳句会十二月俳句会結果

天 湯けむりの風に流れる心地よさ（白峰）
天 雨上がりもみじ絵歩く橋の上（慧澄）
地 熱燗に誘はれて来る猫の鼻（霊峰）
人 我が躰鞭打ち走る師走かな（大造）
人 売り出しの声に誘われ足袋選ぶ（白堂）
人 衣ぬぎ毅然と立ちし大枯木（宗道）
人 一人旅やがて故郷小春かな（寶州）
人 いつみてもすすきの列は風まかせ（無尽）

1 カンツバキただ咲く姿程遠く（白峰）2
2 禅堂の垣根にそっと石蕗の花（無尽）3
3 よろぼひて師走の犬の歩きけり（霊峰）1
4 寒き日々「オリビアを聴きながら」を歌います（ちせい）1
5 そこの庭かしこの垣根つはの花（宗道）3
6 昨夜雨落ち葉は木々の真下かな（寶州）
7 我が躰鞭打ち走る師走かな（大造）4
8 潮満ちて河口の枯葉さかのぼる（宗道）3
9 売り出しの声に誘われ足袋選ぶ（白堂）4
10 徹宵の定を解きての寒さかな（霊峰）2
11 小春日や釣銭口を見る男（大造）2
12 茶の花や先師の手植と懐しく（無尽）2
13 年の瀬に楽しみよぎる一炷香（慧澄）2
14 子等騒ぐ釣瓶落としの遊園地（寶州）3
15 衣ぬぎ毅然と立ちし大枯木（宗道）4
16 でかい葱埼玉県産と上下に（ちせい）1
17 作さざれど食らう勤労感謝の日（大造）1
18 熱燗に誘はれて来る猫の鼻（霊峰）5
19 湯けむりの風に流れる心地よさ（白峰）7
20 炉開きや妻の主客に吾亭主（無尽）2
21 年越さばそれもまた好し見舞いの夜（白堂）
22 雨上がりもみじ絵歩く橋の上（慧澄）7
23 一人旅やがて故郷小春かな（寶州）4
24 枯葉舞ひそれと知らるる旋風（宗道）1
25 ソーラーの屋根を伺ふ木守柿（霊峰）3
26 虎落笛焼肉食べに急ぎけり（ちせい）1
27 初冬やゆきかう人の忙しく（無尽）1
28 湖辺暮れマラソン人がまた一人（白堂）2
29 街中を彩る金色銀杏かな（寶州）
30 冬の夜フォークソングを多く聞く（ちせい）2
31 チンチンチン冬の風鈴チンチンチン（大造）
32 いつみてもすすきの列は風まかせ（無尽）4
33 臘八の月見上げつついばりする（白堂）1
34 付き添いと散歩の鶏草紅葉（寶州）
35 凩や信心強く保ちけり（ちせい）1
36 酒飲みが探す妻への聖菓かな（霊峰）2
37 肌を刺す冬風なぜか蜜の味（白峰）2
38 庭先に人知れず咲く寒椿（慧澄）3
39 立枯れし蓮さながら兵馬俑（宗道）1
40 ゴリラやま頭部も染めしもみぢかな（大造）

次回1月句会の締切は1月15日（日）です。
新年の句を中心に、多くの方の参加をお待ちしています。
霊峰拝